

自動車用部品等、製品の耐薬品性試験を実施します

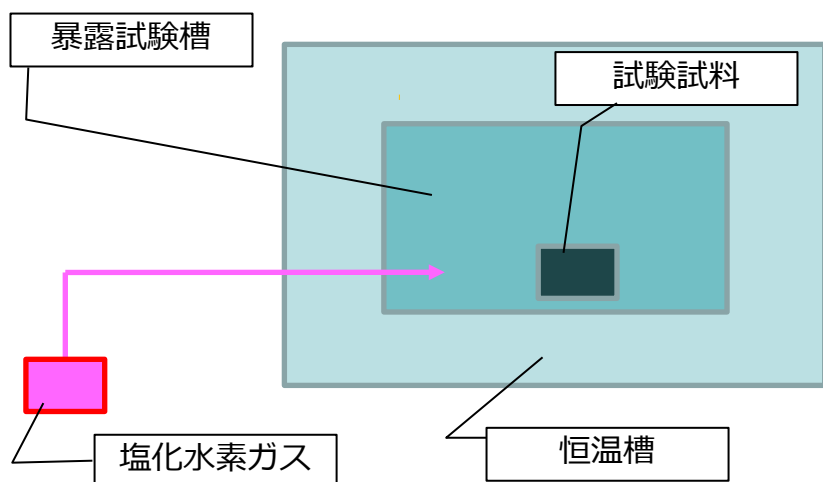
塩酸暴露試験

詳細はこちら https://www.oeg.co.jp/env_meas/resin.html#bk

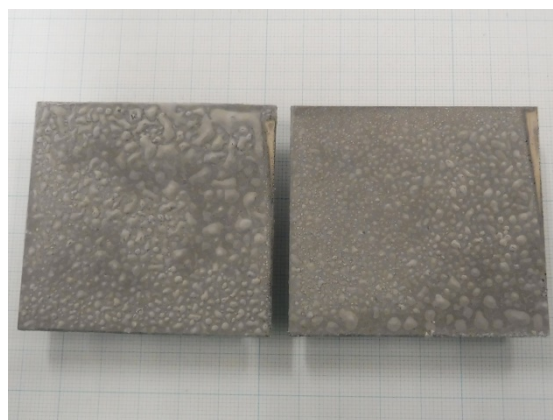
概要 製品の信頼性評価試験の一つとして、塩酸（塩化水素）の環境での樹脂材料製品、塗装の劣化、絶縁不良といった影響を評価する解析です。

- 特長**
- 塩酸溶液を使用して、塩化水素濃度で1ppm～200ppm前後までの濃度に調節し、暴露試験槽に供給し試験することが可能です。
 - 試験後の劣化解析や、物理的な性能などの材料評価も合わせて可能です。
 - 硝酸、アンモニア等、その他の様々な薬品を塗布した環境での耐薬品性試験が可能です。

塩酸暴露試験例



アルミ試験片の試験後サンプル例



塩酸を用いた暴露試験の場合、一定の湿度条件化でないと腐食の進行が進みません。加湿に対しては、お客様とお打ち合わせの上、環境の設定を行います。

材料評価：FT-IR分析

試験前後に樹脂の構造変化を赤外分光分析（FT-IR分析）にて解析可能です。構造変化があれば、構造に起因するピークの強度に違いがみられます。

